

平成25年度全国学力・学習状況調査「経年変化分析調査」の実施報告

調査の概要

- 本調査は、国全体の学力の状況について、経年の変化を把握・分析し、今後の教育施策の検証・改善に役立てるために実施。
- 平成25年度は第1回目の調査であり、次回以降に経年比較を行うための初年度のデータを得ることが主な目的。 次回以降、同一問題の解答状況の変化を把握するとともに、問題数の追加などにより、より幅広いデータを得られるよう充実。

調査対象：無作為抽出された学校の小学校第6学年・中学校第3学年

(小学校220校(抽出率1%)、中学校240校(抽出率2%))

実施時期：平成25年5月～6月の期間中、学校が実施可能な日

調査内容：国語、算数・数学 問題関係の質問紙

* 同一問題で経年比較を行うため、調査問題は原則非公開

* 問題冊子はそれぞれ2冊子作成し、各学校は1教科・1冊子のみ実施

今回の結果概要

■ 問題冊子ごとの平均正答率

	問題冊子Ⅰ	問題冊子Ⅱ	(参考)全問題数
小学校国語	71.7%	65.8%	28問
小学校算数	74.0%	64.3%	32問
中学校国語	71.7%	71.4%	41問
中学校数学	66.5%	62.1%	39問

※ 冊子Ⅰ・Ⅱは異なる問題で構成。
(より幅広い内容を把握するため問題を2冊子作成)

■ 過去の調査と同一問題の正答率の変化の状況

※ 過去の全国学力・学習状況調査等の問題も出題し、正答率の変化を把握。

	3ポイント以上高い	3ポイント未満の変化	3ポイント以上低い	計
小学校国語	9問	7問	0問	16問
小学校算数	5問	9問	2問	16問
中学校国語	5問	8問	0問	13問
中学校数学	5問	13問	1問	19問
計	24問	37問	3問	64問

具体的な問題の状況(例)

【3ポイント以上高い】

〔小学校算数〕

条件を変えた複数の図形で、面積が等しいこと
の理由を言葉や式や図を用いて説明すること

〔中学校国語〕

相手に応じて表現を工夫して案内文を書くこと

〔中学校数学〕

事柄が一般的に成り立つ理由を説明すること

【3ポイント未満の変化】

〔中学校国語〕

調べたことを発表する際の資料の提示の仕方を工夫し、その方法を具体的に説明すること

【3ポイント以上低い】

〔小学校算数〕

平行四辺形の面積を求めること